



浜風

HAMAKAZE

13.2 vol.6

発行：青森県漁業士会
青森県漁政課内
TEL 017-734-9587
編集：「浜風」編集委員会
印刷：東北印刷工業(株)

世紀を越えて

青森県漁業士会副会長（野辺地町漁協）山縣勝彦



21世紀を迎えて私たち漁業士もいろんな問題に向かい進んでいかなければならないと思っています。

今や漁業は資源管理型漁業、栽培漁業を主体として、漁場環境の保全を進めていかなければならないのです。私たち漁業士はその中核として歩いて行くことが必要だと思っています。

私は、ホタテ養殖に取り組んで21年になります。かご養殖から耳吊り養殖へと代わり量産体制と移ってしまいそれともない作業時間の増大、低価格となりこれが養殖業の欠点となっているのです。そのため後継者が少ないのです。これから私たちはいつでも誰でも営める経営体を考えていかなければならないと思います。たとえば企業体を形成するとかなどいろいろな方法を考えていく必要があると思っています。21世紀を力を合わせて進んでいきましょう。



写真借用：国土交通省青森工事事務所



私の所属するむつ支部では、9月24日（日）むつ市まさかりプラザイベント会場において第7回豊漁・豊作祈願祭が、佐藤立治 出納長をはじめ、水産部長、下北地区の各漁業協同組合長他、多数の関係者が出席され開催されました。今年は、例年のイベントのほかに大間の約80kgのマグロ解体ショーが行われ目の前でさばかれていくマグロに人々がみっていました。解体後即売会が開催され大盛況の内に終了しました。ご協力いただいた関係者に感謝申し上げます。



支部とびっくあ

東青支部

vol. 5 に続き、ホタテのおいしい食べ方を紹介します。レシピを参考に工夫を加え、作ってみてください。

ほたての唐揚げ

《材料》

- ・ほたて……………1 kg
- ・パセリ……………大 1
- ・塩……………小 1
- ・卵……………全卵 1個
- ・小麦粉……………100 g
- ・生姜……………2 かけ
- ・白ごま……………大 2
- ・ニンニク……………2 かけ
- ・片栗粉……………100 g
- ・水……………50cc



【作り方】

- ①小麦粉、片栗粉を混ぜておく。
卵、水、ニンニク、生姜はすりおろした物を入れ、全体に混ぜ合わせ塩、白ごまを入れ味を整えます。衣は天ぷらよりややきつめに作ります。
- ②ほたてを入れて混ぜ合わせ、ほたてに味がなじむまで30分位休ませます。パセリはみじん切りにした物を入れます。
- ③サラダ油を180℃に熱し、カラッと揚げます。

製作協力：平内町漁業協同組合婦人部

三八支部

鮫浦漁協婦人部が農山漁村高齢者対策優良活動地域表彰において水産庁長官賞を受賞しました。10月13日に農水省で行われた表彰式では部長の嶋脇京子さんが中須水産庁長官から直接表彰状を受領しました。

鮫浦漁協婦人部は昭和50年の結成以来、産直活動の草分け的な存在として、すき昆布等の水産物加工や直売活動に取り組み、地域の農漁業女性団体とも連携しながら積極的に魚食普及に取り組んできました。

食堂及び直売所である「うみねこの家」は観光客の憩いの場であるばかりでなく、地元の人や浜の父ちゃんたちの安らぎの場ともなっています。



日本海支部

大戸瀬の漁師の直売だよ!!

「旬」

師走に入り16日(土)大戸瀬漁業協同組合では、漁師の直売『お魚大即売会』が開催された。

テレビでの放送・地元近隣の町村にチラシが届けられ、例年の盛況もあったせいか開催時間前に行列ができた。鮮魚の即売もさることながら中でも活魚のせり市は一般の消費者にはなじみも無いせいか、目を見張るほど大盛況を見た。

深浦町大戸瀬は青森県の西南部に位置し、日本海に面した海岸線は約46kmに及びそのほとんどが岩礁地帯となっており、寒暖流の



交流する好漁場を有していることから、四季を通じ活発な沿岸漁業が営まれている。重要な漁業資源の宝庫となっている。

深浦地区の漁業協同組合は4沿岸漁協と1内水面漁協を有し、ヤリイカ、マダイ、ブリ、ヒラメなどを対象とした一本釣漁業が中心となっており、年間5,900トン、30億円水揚げされている。

背後には世界自然遺産白神山地がそびえており、これらの恩恵に支えられた第1次産業を基幹産業としながら、町の活性化を推進している。

当日は盛り沢山のイベントと寒ブリや宿泊券が当たる大抽選会が盛大に開催され盛況を見た。



専技コーナー

青森県水産業専門技術員

小倉 大二郎

このたびの漁業士認定に伴い、本県の漁業士数は指導漁業士7名、青年漁業士75名の146名となりました。

水産庁の資料によれば、平成12年4月現在、全国の漁業士数は36道府県で2,623名を数え、その上位は北海道235名、青森132名、熊本121名、香川113名、大分107名などの順となっています。また、このうちで女性の漁業士は山口28名、香川20名、北海道17名など全国9道府県で99名を数え、漁業士並びに生活改善士として活躍しています。

21世紀を迎え、本県の基幹産業である漁業を支える中核者として、全国トップクラスの人数を誇る漁業士各位のますますの活躍を期待するとともに、漁業に重要な役割を果している女性の多彩な能力を漁業士会活動に反映できるよう、本県での女性漁業士の誕生を期待するものです。

新規会員紹介

平成13年1月9日に青森公立大学で行われた「第42回青森県漁村青壮年女性団体活動実績発表大会」において、県より漁業士認定証が授与され、16人が青森県漁業士会に仲間入りし、5人が指導漁業士へと移行しました。

指導漁業士

私は底立網を主業としております。後継者となる若者は漁業に魅力を感じないのか漁師離れが目立ちますが、研究会、発表会等を開催して若者達が積極的に参加できる機会をつくるのが指導漁業士の責務と考えております。



小田野沢漁協
川口 均



蓬田漁協
三浦 辰彦

今回、指導漁業士に認定された蓬田村の三浦辰彦です。

私は、漁協の監事を務める傍ら若い世代の意見を漁協経営に反映させるため、研究会にも所属し活動しております。

今後の抱負は、ほたて大型貝を作るための養殖技術の確立と、ほたてに代わる水揚げ魚種の模索です。

漁業士の皆様との交流の中で、色々なことを勉強して参りたいと思っておりますので、ご指導方宜しく申し上げます。



漁業者の高齢化、後継者の不足、漁価の低迷と漁業を取り巻く環境は依然不透明であり、私達の生活も下り坂で『歯止めを』と言う今日、青年漁業士の認定を受け気も心も引き締まる思いです。自然破壊が進む今日、今後の漁業に対して新しい何かを求め、夢と希望と感動と勇気を、そして真の力を与えられる漁業士を目指す気持ちです。時代の移り変わりは早く、時には激しく時には厳しく、時には挫折感と戦うことも。先は見えないが進むしかない。『きっと闇は明ける。』『明けない闇はない。』

青年漁業士



小田野沢漁協
二本柳末広

自分は一本釣をしています。まだまだわからないことだらけなので、これから青年漁業士として先輩の方々の指導をえてがんばっていききたいと思います。



平内町漁協
笹原 一豊

昭和32年7月26日生、43歳。
今を大事に、時代の先取りができるようがんばりたい。



横浜町漁協
秋田 正明

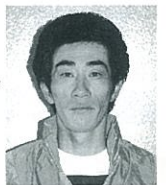
私は、ほたて養殖をしています。これからは、青年漁業士ということで今後のほたて養殖をしていくうえで、価格のよい、また、へい死に強いほたて作りをしていきたいと思っています。

僕は大工を10年程やり、父の病気の為、父のあとをつぎ、ホタテ漁業をやり、東田沢研究会に8年程在籍して居ります。

今後は、売れるホタテの研究をしていきたいと思っています。



平内町漁協
山本新太郎



平内町漁協
山本 昭仁



野牛漁協
渡邊 徹博

自分の従事している漁業は小型定置網とイカー一本釣です。今年41歳で脂がのりきって仕事盛りです。
今後の抱負は、魚価の低迷が続き漁業に従事している人達の生活が脅かされていて、今後どのような流通販売方法で生活安定を図っていけば良いかを、漁業士会の中で見聞きたいと思っています。

私は1月から3月まで一本釣漁業、4月から10月までかれい・ひらめの底建網、11月から12月がたこ籠漁業を操業しております。

どの漁業も漁獲高が減少し厳しい環境にあります。地元の漁業研究会に入り、こんぶ養殖の種付など栽培漁業にもとりくんで汗を流しております。アンテナを高く上げて皆さんの情報もキャッチしたいと思っておりますので、ご指導のほどよろしくお願い致します。



小田野沢漁協
川村 久雄



泊漁協
館 寿二郎

この度青年漁業士として認定されました。勉強不足ですが、先輩方の御指導をいただき、活動して行きたいと思っています。



泊漁協
村畑 昭司

この度青年漁業士となり、まだ日が浅い私ですが、会員の皆さんと共に活動の場を広げて行きたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。



泊漁協
中村 志志

後継者の育成を考えて先輩達と共に青年部を結成して6年になりました。最近では会員も前向きに物事を考えるようになりました。

これからも皆さんのアドバイスを受けて、漁業士として貢献したいと思っています。よろしくお願いします。



平内町漁協
八戸 翼

ほたて養殖しか経験した事がないので、他の漁業のお話も聞きたいと思っています。まだまだケツの青い若造ではございますが、先輩漁業士の方々よろしくお願いします。



小川原湖漁協
浜田 正志

今年青年漁業士になる、浜田正志です。

漁業は、船曳網漁(引き網)、蜆漁をおこなっております。漁業に対して、もっと広い目で見たり聞いたりしたことを実践し、小川原湖を、今以上に良くする為に、又、後継者に残す為学びたいと思います。



小川原湖漁協
沼辺 正孝

初めまして、今度漁業士に認定された沼辺正孝です。

シジミ漁をして、8年目になります。先祖代々続く小川原湖の漁業を守りながら、新しい漁業の発展の為に、頑張っていきたいと思っています。



岩屋漁協
白濱 信生

青年漁業士に認定され、身の引き締まる思いと共に責任の重さを痛感致します。今後は青年漁業士として地域漁業の活性化を目指し、頑張りますので、皆様方のご指導を宜しくお願い致します。



蟹田町漁協
石岡 博英

この度、指導漁業士の認定を受けました。漁業関係者の皆様には、よろしくお願い致します。

蟹田沖の12月の漁の状況としましては、平日は好調で(1網100kg~300kg)、鱈・ヤリイカは皆無に等しく、カレイ類も平年より下回っての漁獲量でした。今後の漁に期待しているところです。皆様方の浜の状況はいかがでしょうか。

本年の皆様の大漁とご健勝を祈願致します。



泊漁協
林下 智

私は青年漁業士としてむつ支部に在籍、良き先輩に恵まれ、懇親会での指導は大変に勉強になりました。

今後共、懇親会を中心に皆様方と一緒に歩みたいと思います。一声かけて下さい。よろしくお願いします。



白糠漁協
伊勢田光明

指導漁業士になった以上、地域の漁業の振興や後継者育成に対して頑張っていきたいと思っています。



鱈ヶ沢漁協
八木沢健一

指導漁業士の認定にあたり、県水産部の皆様には日頃から大変お世話になっており、この場をかりてお礼申し上げます。

漁業士第1期生として認定されて早くも14年になり、漁業士としての活動も目まぐるしく過ぎ去ってきました。青森県水産業の現状は、漁業生産が不安定な状況が続いており、経営状況も悪化しています。これらの課題を踏まえつつ、本県の水産業の健全な発展を図るため、関係機関との密接な連携のもとに、今後も積極的に努力致します。



白糠漁協
伊勢田賢太郎

このたび、指導漁業士の認定を受け、誠に光栄に思っています。今後も、後継者の育成にがんばっていききたいと思います。

私は、漁業に従事して25年ぐらい。まだまだです。家族は、妻と中学1年の息子と母の4人家族です。一本釣り漁業を主体に年間操業しております。白糠の沖合で操業していたら、声をかけて下さい。船は第十一竜宝丸です。

指導漁業士へ 移行しました。

編集後記

本号もvol.5に続き、活きのいい文章ばかりだったので、ほぼ原文のまま掲載しました。皆さん、ご協力ありがとうございました。載せて欲しいことや面白い情報などありましたら、どしどしお寄せ下さい。2001年は、いよいよ漁業士会のホームページができるかも…。

(記：普及育成班 篠原 由香)

連絡先：むつ支部 0175-22-8626
三八支部 0178-27-5858
日本海支部 0173-72-4300
東青支部 017-774-0772